いわき民報

發行所 いわき民報社
平市[illegible]一番
發行兼編輯印刷人 千輝亮己
日刊 但月曜日を除く
定價 一ヶ月[illegible]

齒科一般
口腔外科
本田齒科醫院
湯本町[illegible]一ノ九
（古峰神社前）

お正月用品の特配

糯米、お酒五合木炭は半俵

醤油、數の子、塩鮭するめ

あたらしい希望をもつて迎へるお正月に、砂糖や食油類はなくとも、切めてお酒や魚は、それに木炭醤油に足袋位は是が非でも配給、心たのしいお正月たらしめてやり度いと關係各組合と協力、當局では温い親心から目下準備に大童となつてゐるが、既に決定したものや見透しはどうか？二十四日現在の状況を訊くと次の通りでどうやら何とかなる見込みであるといふ

お酒 市は新正月に十二月分の特配を加へて五合、郡部は舊正に一月分に特配を加へ五合と決定、この外市は一月分として正月中旬に三合、郡部は十二月分として同じく三合を下旬に配給の豫定

魚類 共販組合の努力で數の子一人一匁當り、するめ一人一枚當りと塩鮭一人當り三十匁の豫定で何れも年内に配給することに決定

餅米 最初の豫定といささか違つて一般は一人當り九合炭礦が七合、但しお米との差引で加配でないから〃餅は食ひたし米は欲しい〃でチョッといたいところ

木炭 例年の早い然も大雪に年内配給見込みなしとあつたが、炭のないお正月ではと統制組合を始め木炭業者四十余名の必死の奉仕で、澤渡方面の除雪作業の結果、自動車路のどうやら見透しがついたので、警察の應援で自家用車を動員、搬出につとめ年内に一戸半俵宛程度配給しやうとしてゐる

醤油 市配給課で先般來從得に奔走中漸く三十一石六斗を入手したので一人一合宛二十八、九日頃に配給するがこれは特配

野菜 冬枯れではあるが目下荷受組合側が大童なので、先づお正月程度は配給し得る見込みといふ

煙草特配

一人當り二十本

專賣局平出張所ではお正月用と年末の特配について一人當り二十本の煙草の特配を行ふ、輸送難の折柄二十本宛といへ非常な努力で[illegible]ひたいとのことの點はかつて[illegible]

一世帶一足

足袋特配

市は廿九日から
郡部は廿六日から

平地區統制組合では二十一日の總會の結果第二、四半期衣料品割當の中正月用として取敢えず年内に都市民に足袋を送り暖かいお正月を迎へさせる事になつた、種類は[illegible]に次いで湯本は[illegible]、澤渡[illegible]

供米最後の頑張りへ

町村長農業會長合同協議

郡内町村長會、農業會長會では二十四日午前十時から公會堂に於て合同協議會を開き供米について協議、用部の[illegible]技術員の改善、當工品の增産[illegible]小名濱等が八十五%となつて居るので本年最後の頑張りを促進すべく完遂農家に戸票を張り成績を明示する事になつた

農民の目覺め未し

素晴しさを示したのは農組

十日執行された農地委員選擧の結果に見ると地主、小作、自作の各層共五十名が最高で、青年層の動きは小作層に僅か十數名を數へるに過ぎず農村の目覺めは未だしの感が深い、然し農組の動きは素晴しく、五十五名の目覺所屬中四十四名（地主三名中二名が[illegible]）が當選そでその勢力分布は明かにされた、この外は共同組合二名、社會黨一名が目立つて居る、農組の成績は泉村の六名中五名、鹿島村七名中[illegible]、渡邊村の四名中四名、小川[illegible]、水戸村の四名中[illegible]良い部反對に[illegible]小作三十三、自作八）

農業會長會

市郡町村農業會長會は二十六日午前十時から市内湯殿山神社に於て今後の運營と當面の諸問題、農業委員に對する記念品贈呈等種々協議する

八足、[illegible]井村三一五二足、小[illegible]村四八二足、永戸[illegible]輪村一三七四足、澤渡三[illegible]村五九足、[illegible]野村一一〇五〇足、神[illegible]村一三一一足、夏井村八三八足、草野村一、四五四足、高久村八八九足、計三〇〇〇〇足

平市一〇、〇六四足、内郷町九、六四三足、[illegible]賀村五、三[illegible]

賣家
總二階建 建坪五十六坪
平 齋藤[illegible] 面談

平土地住宅 有限會社
電二〇二九一一番

大野經濟學博士來平

猪狩四郎氏等の肝煎りで

中央大學教授經濟學博士大野信三氏は猪狩四郎、佐藤幸太郎氏等の招請で二十三日來平、二十四日午後一時から常陽銀行樓上で一般者に新月危機を前に來るべき經濟界の動向について講演、二十五日午後六時からは日本間で市内青年に長講三時間にわたり講演する

湯本消防陣容強化

湯本町警防團では自動車ポンプの修理整備等完備したので二十日から夜警を開始、同時に警防部陣容強化の爲各部々長に[illegible]田常吉氏、副部長に近内壽一氏を夫々任命した

小名濱で潮祭執行

驗は見えて壽和丸の水揚げ

小名濱の水産加工業者組合では今年の不漁の如く前代未聞の不振な有樣に、こんな時は昔ながら海神を祭り大いに氣勢を添へようと[illegible]二十三日夕野崎良吉氏の壽和丸が五十貫の大水揚げを行つたので幸先きよいと喜びである

米2 野[illegible]▽松崎[illegible]▽馬[illegible]／鈴木寛▽[illegible]松崎治良[illegible]／吉田正[illegible]▽大根／[illegible]▽[illegible]根本[illegible]柿2 五十嵐文治郎／[illegible]2 乾[illegible]2 根本金太郎／[illegible]3 吹田[illegible]▽千籠3 細田延松▽[illegible]／松崎[illegible]▽[illegible]3 [illegible]▽龍[illegible]木賞[illegible]論大會 渡邊英平▽[illegible]能大[illegible]／下[illegible]青年團[illegible]（國定忠治）▽[illegible]産物品評會[illegible]▽水稻[illegible]野[illegible]松崎治良▽玄

市農業祭の入選者

何れも好成績

市の農業祭の催しの一つとして二十一日から開催中だつた生産物品評會は第二、第三兩國民校で二十二日及び町内[illegible]を待して大盛況裡に終了[illegible]頗る好成績を示し又[illegible]諸論大會も好評を博したが入選者[illegible]

引伸 燒付 現像 時間上 24 前[illegible]安[illegible]村[illegible]寫眞 タカサワ

貯炭僅か二日余

平機關區でも青息吐息

[illegible]をついた鐵道の貯炭量は二十[illegible]からのダイヤ變更で如實に[illegible]じているが、平機關區の貯炭量は二十三日現在で僅か二、七日分の心細さであり係員頭痛の態である

引揚者更生運動懇談會

引揚者聯盟磐城支部では引揚者の更生三ヶ年計劃運動展開について二十六日午前十時から公會堂で本間座談會を開催する

棹尾の郡常會

地方事務所では二十四日午后一時から本年棹尾の常會を開き次の事項を協議した[illegible]救國貯蓄運動、引揚者更生三ヶ年運動展開協力、同胞援護會寄附金募集、自給肥料增産、農工品增産對策、本年度米政府買入促進、精麥精麥設備設[illegible]可農業技術員の待遇、木炭の生産配給其他に就いて[illegible]

反當收納は六千圓

ホクホクもの[illegible]

煙草耕作者連[illegible]葉の收納も終了したが[illegible]反當收入は平均して六千圓[illegible]賠償金が前年[illegible]

六萬圓に躍る

木炭を餌にして

双葉郡[illegible]町大字[illegible]松本正二郎（三八）[illegible]

父故陸軍上等兵吉田要二儀[illegible]海に於て戰歿致候處今般遺骨到着仕り候間來る十二月二十六日午後一時より平町[illegible]の自宅前庭に於て葬儀式を執行致候間此段御通知申上候
昭和二十一年十二月二十四日
平市鍛冶町一八
嗣子 吉田要太郎
兄 吉田常太郎
親戚 三阪[illegible]久也
總代 佐藤[illegible]太郎

電話開通 九二七番
市内唯一の閑靜な憩ひの宿
年末年始の御宴會に是非御利用下さい
旅館 割烹 さわの湯 鑛泉
平市[illegible]

古人を實現にし
現人を永遠にする
菊水肖像畫院
各額肖像と額縁御用なら
繪と額 菊水美店
平市五丁目[illegible]（電989）

いわき寸言

水（二三）の神社で山形縣湯の濱温泉へ木炭千六百俵を贈るとて六萬一千五百圓を詐取し二十三日から[illegible]

[illegible]ながらお正月用品の加[illegible]苦勞をかつ決して受けるべし[illegible]漁の不漁に[illegible]小名濱の加[illegible]業者遂[illegible]相變らず[illegible]つて潮祭[illegible]行たり[illegible]選擧の結果をみるといふ然たる[illegible]青年層の進出乏しい目覺め未しの感深し[illegible]大野經濟學博士來平[illegible]講演す[illegible]經濟危機を如何にすべきか[illegible]の認識者の言をよく聽き誤る勿れ

石炭危機突破に
浮び上る十三礦區
採堀禁止いよ〱解禁さる

石炭事情の危機打開策として政府は從來採堀廢止となつてゐた礦區の採堀を許可する事になつたが、當磐地區では日炭に買收された左記十三礦が浮び上る事になつた礦名竝所有者は左の通りで之に依り月産二千噸から三千噸が増加する

鶴ケ崎礦（廣野村、荒井小十郎）三好礦（箕輪村、白石清）三輪礦（内郷町、田中源元）大倉礦（赤井村、井上龍平）佐久間礦（箕輪村、佐久間得三）文一礦（廣野村、今幡西衛）日産礦（好間村、水越與八）石城礦（箕輪村、石城礦業）南磐城礦（箕輪村、安井乙次）革新礦（廣野村、木田）廣野高倉礦（廣野村、帝國興行）好間大野礦（好間村、大野房義）福双礦（廣野村、吉村鍵治）

憂慮さるゝ稻藁供出
各町村割當量も決定さる

さきに割當られた郡内藁工品荷造繩に次いで原資材の稻藁は作付反別、豫想收獲、土地狀況等綜合の結果石當り五十貫平均で五十萬九千貫割當てられたが貫六十錢から十二月一杯の例外價格として三圓を認められたもの昨年度三十萬貫に對して六千貫の供出實績から見て豐作とは云ひ乍らどの程度まで供出されるか木炭の供出不振と相俟つて甚だ憂慮されてゐる。各町村別數量は左の通り（單位貫）

泉二三、九〇〇渡邊一八、五〇〇植田二三、七〇〇山田一八、五〇〇錦二一、〇〇〇勿來二七、〇〇〇上遠野二〇、〇〇〇入遠野九、五〇〇川部一〇、〇〇〇飯野二三、〇〇〇夏井一五、〇〇〇高久一三、五〇〇豐間四、七〇〇江名六、〇〇〇鹿島二一、〇〇〇小名濱二七、〇〇〇磐崎二〇、〇〇〇湯本五、〇〇〇内郷一一、〇〇〇好間一三、〇〇〇赤井一五、〇〇〇永戸箕輪九、五〇〇澤渡三阪一一、〇〇〇神谷一九、〇〇〇草野二四、〇〇〇大浦二、〇〇〇四倉五、五〇〇大野二六、〇〇〇小川一六、〇〇〇川前八、五〇〇平二四、〇〇〇計五〇九、一〇〇

至急譲
ハーレー側車附
オートバイ
性能良好新品同樣委細面談
平市田町五
平土地住宅有限會社
電二〇二・九一一番

譲度
高性能顯微鏡
倍率最高千五百倍
詳細面談
平市田町五
第一通信工業株式會社
電二〇二・九一一番

大道興變

平中　靑二

▽ある年頃の娘のところに、二ケ所から結婚の申込みがあつた一軒は金持ちだが顔がよくない他の一軒は貧乏だが男ツ振りがとても良い。母親は人格紳士、娘の意志に從ふべきだと考へて娘に相談を持ちかけたが顔にモミジの色をそめて下うつむいて返事をせぬ

▽「恥かしいのか、よし、それなら良いことがある。金持のムコさんの方に行きたいければ右の肩をぬぎなさい。もし男ツ振ぶりの良いムコさんのところへ行きたかつたら左の肩をぬいで見せなさい。其の間、私はこつちを向いているから」と、母親が後を向いた

▽娘は心得たりとばかりに肩をぬいだらしいので「もう良いかい」と振り返つて見たら、娘は兩肩をスツポリと脫いでいたと言う

▽母親は目をパチクリさせて「澄通りでも霧が降るのに兩肩ぬいで寒いことないの？」というと「一生に一度だもの、貧乏になつても構わないよ。今日ね婦女の音樂會で、根本ツネ子さんは夏のウス衣一枚よ、でも、素敵な聲よ。初めて聞いた」ツーオ、初聲！」というような對話が交はされたかどうか知らない。

▽が、映畫は毎日見たいし、學校の成績は良いのを貰ひたし、遊んでいても甘いものは腹一杯食いたい。働かないで新聞はウント集めたし。錢はステツキガールで夜は主人に可愛がられたい、名聲も欲しい地位もよこせ……では何百年生きのびても、絲みが叶う時は來ぬ

▽果報は寢て待て、今にタナからボタモチが落ちて來るだろ[illegible]と、口をアングリあけて待つていても、棚さえないのだからネリもたまらん

▽『知足安分』、物質的な欲望には道德の衣を着せて、精神的な欲望は燃やしつゝ、宗教に基礎づけられたより高き文化生活を追求すれば、惱みも消え煩みも去つて永久に大地はほゝえむであらう

各種ミシンの
販賣と修理
平警察署通り
三浦商會ミシン部
電八六四番

湯本幼稚園
記念遊戯會

湯本町幼稚園では二十三日午前九時から皇太子殿下誕生記念を祝して遊戯會を開催可愛兒童の盛澤山のプログラムに盛會に終了クリスマスプレゼントとして園兒に贈りものをし喜んで引上げた終了後湯本町幼稚園兒童保護者會を結成し幼稚園の事業設備を期することに決した

大平村長の慰勞金決定

草野村では二十五日附で大平喜一郎村長の退職が認可され又大平芳孝助役も退職するに決つたので村長に六千圓助役に四千圓の退職慰勞金を贈ることにした

濱に閑古鳥鳴く
すつかり祟つた鰯の不漁

潮流異變から期待された秋鰯揚操漁業も、最初のみでその後魚群をみず、こゝ半月余は全く姿をみせぬため、この狀態では折角の本年の鰯漁も期待外れに終るものと觀測、いわし小名濱も火の消えたような閑寂さを示してゐる、たゞ漁業家は明年は陰曆三月の閏月なので俗に春永といふ一事に期待をかけ、鰯群の春への持越しを祈つてゐる

湯本町會

湯本町會は二十五日召集追加豫

開放
投書を歡迎す
要案批判結構
紙上可匿

學生聯盟の提唱

▽…最近平中先生が「大道興變」に於て學生生活を取り上げになつて我々學生の蔭の生活、即ちスクールライフに對する正しい方向を與へて下さるのみか、廣く社會の喚起をうながして下さいまして感激にたへません

▽…さてこれは、或る引揚の方に聽いたお話ですが、佐世保へ上陸して九州、關西、東京と來る途上で一番身に浸みて感動したことは、學生聯盟の暖な思ひやりの數々であつたさうです

▽…かく引揚の方をして感動せしめた、その奉仕的活動が學生聯盟の方々の自主性的行動により行はれてゐることを考へた時現在の我々學生の動向のあまりにも反對的なのには驚かざるを得ません。例へば敗戰後我々の學校と或る學校との間に惹起された學生らしからぬ不祥事件や汽車通學生などの洗面所に於ける喫煙等々をみるとき何とも心細くなります

▽…此處に私は愚見として學生聯盟の組織を提唱致す次第であります。その學校にはその學校の校風といふものがあります。然しそれが個々別々に存在する場合には、安價なヒロイズムとして自校の校風を誤解した醜な行爲を行ひたくなるものです そこでこの提唱をするのです

▽…即ち各校の學生が聯盟を結成、友交關係を親密にし、試驗の終了後など徒らに時を過ごさないで各校間のスポーツ大會、評論、討論會、研究發表會などを行ひたいと思ひます。以上どんなものでせうか、皆さんの賢明なる御批判と熱心な御指導を待期致します

（磐中生芳賀世一）

北鮮の遺骨
市郡關係者

この程長崎市へ酷寒と飢餓の爲北鮮で倒れた同胞の遺骨はこの程長崎市についたが、中郡市關係者は左の通りである、尙引取者不明の遺骨も多いので心當りの方は長崎市船大工町の大陸引揚者連絡本部へ照介されたいと

渡邊光夫（五ツ）平市下平窪、渡邊敬子（二ツ）同、小菅道保（三ツ）湯本町、堀江吉惠（四七）平市月見町、堀江彩（八ツ）同、丹野佐次郎（五九）、小澤守（二ツ）山田村、木村詞子（四ツ）神谷村

山崎武賴氏
支部長就任

湯本町溫泉旅館組合長山崎武賴氏は今回一市濱三郡の福島縣溫泉旅館組合聯合會濱通り支部長に就任したので近く湯本溫泉旅館組合長を選任することになつた

湯本生協組合
事務所を新築

湯本町生活協同組合では久しく閉店してゐたが愈々新[illegible]務所を驛通り品川白煉瓦前八坂神社下に新築來春早々大々的に開店皆樣に對し滿足出來るよう努めることになつた、第一回配給はタドンで組合側として長い間閉店してゐたことを濟まないとわびしてゐる

パーマネント
ミトヤ開店

東都の美容師を招いて湯本町驛通りミトヤパーマネントの愈々新開店した時代の要求に應じ若奥樣娘さんどなたにも好まれるサービス滿点とゆり好評を抱いてゐる

引揚者援護に
奇術興行
伊東氏の援助で
廿六、七の兩日

縣引揚者聯合會、同磐城聯盟及び同胞援護會支部では共同主催で、平市伊東一氏の義俠的援助に依り伊東マツノ奇術座を聘し市役所後援の下に二十六、七日の兩日晝夜三回世界館に引揚者援護金募集を行ふが前賣券も十圓で發賣する

草野村の
農地委員

草野村の農地委員當選者は左の通り

▽地主豐田久義、高崎文夫、篠崎秋穗▽自作坂本佳市、渡邊善吉▽小作松崎勝彌、小島義雄、大津智郎、片寄好男、新妻忠次郎

玉水吟社
新年句會

赤井村高萩玉水吟社では元旦午前十時から小川鄕驛前旭屋二階で新年俳句大會を開催する、何鳴香野兩師も臨席する、持寄句は元旦、元朝、歳旦、年の朝等三句、席題は題未定で三光五客には賞品を出す、會費は三十圓（酒肴、中食付）酒二合、米二合持寄のことで、何人の來會も歡迎する

棹尾の市常會

本年棹尾の市常會は二十六日午後一時から公會堂日本間に開催

紺屋町靑年
藝能大會を

平市紺屋町靑年會では二十四日午后六時から町內細谷無盡會社樓上に於て藝能大會を催し町內の傷老引揚者戰災者及び一般の年末慰安を行つた、

御宮と神具
歳末用品・正月用品・際物玩具
其他あらゆる百貨一般入荷
百貨卸問屋
平市六丁目通（電485番）
さかいや商店

灰皿

▽倉庫破りで檢擧された小名濱町定西製材工場藤正（二六）—と云ふ男、廿日來平署平間探偵長に調べられているが、なんとしても自白しない

▽追求の結果〝どうも濟みませんとあやまつたのはよいけれど

▽實は弟にさそはれたのでつい入りまして〝ベイ〟とは近頃にはない泥的だ

電話新設
一六三番　鍋屋金物店　湯本町表町
一六四番　沼知寫眞館　湯本町表町
一六五番　吉村電氣商會　湯本町表町

パーマネント
婚禮衣裳着附
お待兼の新店が出來ました
どうぞよろしく
パーマネント
ミトヤ
湯本町驛前通り
電二八番